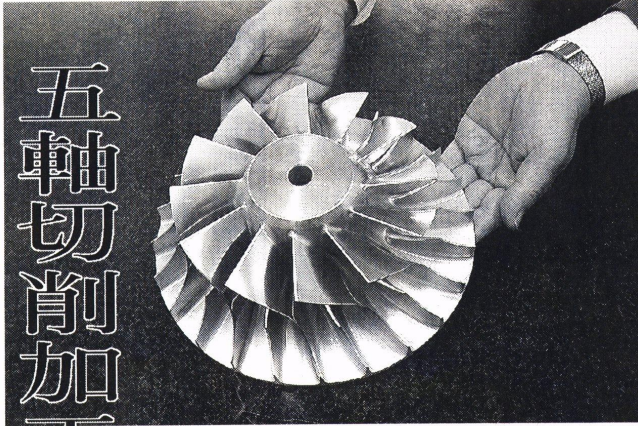


新産業創出の パートナーを



五軸切削加工

原田精機工業が製作した五軸切削加工によるインペラー(四輪ターボ車などの羽根)

静岡 静岡 静岡 静岡

原田精機工業

五軸切削加工の原田精機工業(浜松市小豆餅、原田隆司社長)は、新しい産業や技術を創造する研究パートナー企業を、インターネットのホームページで募集している。同社は一九七〇年創業し、八三年に有限会社となった。従業員十一人で資本金は三百万円。CAD/CAMシステム(コンピュータによる設計・製造)を使った五軸切削加工など難解な形状物をつくる技術を持つ。二輪・四輪、航空機部品の試作や開発などの新製品開発、〇次試作(研究開発試作)、レーシングマシン用部品、検査機器など

HP上で募集

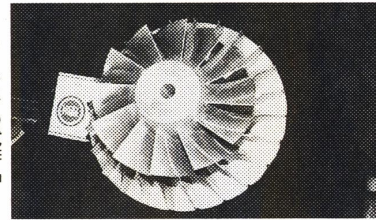
の製作を手掛ける。これまででは試作開発に特化したため、大手輸送機器メーカーなどからの受注が中心で営業活動は重視していなかった。ホームページの導入により、高度な技術を生かせる企業や団体などを募集し、共同で新しい産業や技術、分野を創造する機会を探る。原田浩利専務は「輸送用機器中心だった五軸切削加工などの技術ノウハウを、幅広い分野で生かしたい。単なるビジネスパートナーとしてだけでなく、共に技術開発するパートナーも求めたい」と話す。ホームページアドレスはhttp://www.ric-shizuoka.or.jp/hsk

技術生かせ

3次元CADデータから

同時5軸加工機を作動

原田精機 プログラム技術確立



タービンの試作品

航空機部品の試作受注へ

原田精機工業は2・4輪メーカーからエンジン部品などの試作品を受託している。中堅規模では珍しく11

年前に3次元CADを導入、2年前には同時5軸加工機を導入した。3次元CADや同時5軸加工機の導入例はあるが、プログラムが難解なため一部の大手を除いて十分に活用できていないのが実情という。同社は今回のプログラム技術の確立により、同時5軸でしかできない曲がったパイプ形状などの切削加工ができるようになった。エンジン部品の試作でも、一般には鋳物を吹かなければできないシリンダーヘッドや、縦に2分割しなければ

切削できないミニホールドも、すべて1回の削り出しで加工できる。しかも図面の精度を再現しているという。

このため、2・4輪メーカーからの試作品受託を増やすとともに、同時5軸加工でしかできない高度な試作品受託に乗り出す。同社はジェットエンジンのタービンや翼断面の形状部品など航空機部品の試作受託を目指しており、今後、受注先を拡大していく計画だ。